No.	3	—	15・16・17・18・19・20	—	2

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和5年（2023年）3月27日

作成者： （課名） 市民協働推進課

（氏名） 酒井喜久

1　基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市良元地区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 4．安心・安全なまち
	【具体的な取り組み】 防犯 15 　アトム110番連絡所の定期的な情報交換の場を作る 16 　アトム110番連絡所の場所を見直し、空白地域がないように設置を働き掛ける 17 　アトム110番連絡所利用の模擬体験を実施する 18 　すみれマップ良元版を更新し、各所にすみれマップを設置する 19 　防犯パトロール実施グループの連携と情報共有を図る 20 　自治会や近隣で、日常の生活の中で、子どもの見守り活動を行う
取組内容の関係課	良元小学校 学校教育課 青少年センター

２　対話の状況

（１）実施概要

ア　日時：　令和５年（２０２３年）２月１０日（金）　13：30～15：30

イ　場所：　くらんど人権文化センター　中ホール

ウ　出席者：　以下のとおり

＜まちづくり協議会＞

●

＜関係課＞

良元小学校　濱路校長

学校教育課　前田係長

青少年センター　吉野係長

＜協働の取組推進担当次長＞

中村部長

＜市民協働推進課＞

酒井

（２）確認できたこと

ア　当日の会議のテーマは、コミュニティ役員と中村部長との事前調整の結果、①子供たちの登下校は今どうしているの？②登下校時の課題や困っていることは？③希望する方策はありますか？④地域として取り組めることを話し合いましょう、の４点とした。

イ　会議の概要については、コミュニティにおいて「「子どもたちの安全を守る」ネットワーク会議報告」（別紙1のとおり）としてまとめられ、2月24日（金）の役員会及び3月17日（金）の理事会で承認を得て市に提出された。

ウ　今後コミュニティとしては、「時間のかかる大きな問題や身近な問題も出たが、子どもたちの安全を守るため、ひいては地域を守るために取り組んでいきたい」と、引き続き検討していくこととした。

別紙１

「子どもたちの安全を守る」ネットワーク会議報告　（最終）

日時：令和５年２月10日（金）　13時30分～15時30分

場所：くらんど人権文化センター　中ホール

参加者：行政４名、小学校１名、社協２名、
地域住民・ＰＴＡ・補導委員16名、リモート参加１名

会議のテーマ：①子どもたちの登下校は今どうしているの？
②登下校時の課題や困っていることは？
③希望する方策はありますか？
④地域として取り組めることを話し合いましょう

ネットワーク会議内容

- 良元小学校濱路校長から、現在の子どもたちの登校時、下校時の説明があった
- ＰＴＡ愛護部から、登校時の見守りが出来ていない危ない箇所があること、旗当番が一人で危ない中で立っているということ、登校班が作れないことの話があった
- 旗当番も、地区割と今の道路状況に合わせたものに見直しが出来ないか検討している。
- 子どもの見守りの現状は、限界の部分があると思うが、学校、保護者、地域でそれぞれが話し合って、取り組むことができないかと思う。
- 登校班は、毎年変わると思うので、毎年学校と話し合って、登校班の仕組みは柔軟に考えたらよいのでは。
- スクールゾーンの話が出ていたが、申請にはまず地元の合意が必要となる。
- 学校教育課では、通学路プログラムで、２年に一度、関係課や警察、小学校側とで通学路を点検している。良元小学校は令和５年夏ごろに実施する。７月ごろに点検項目を学校に照会するので、要望事項をまとめてほしい。可能かどうか一緒に現地を見て回る。
- トロッコ道と下道の交差点に付け替えられたカーブミラーの角度について調整を依頼した。
- 資料「良元小学校校区地図」の黒丸の集合場所について、現状を聞いた。
- 他地区参考事例として「見守りボランティア大募集」の説明があった
- 他のまち協の取り組み事例「下校時子ども見守り隊」と「わんわんパトロール」の説明
- いつでも、どこでも、できるところで良いから見守りをするのは、取組みしやすいと思う。良元小の第３火曜日を良元見守りデーとしてもっと地域にも広げていけば良いのでは。
- 市では、防犯パトロール用にアトム防犯パトロールのタスキを作った。防犯パトロールとして着用するものは統一されていて周りから見ても、一目でわかるものが良い。
「ながら見守り」のチラシが兵庫県警察から出ているので、これを参考にして、良元地区でも、ポスターを作って見守りボランティアに登録してもらったら良いと思う。
- 今回作った安心安全マップは、アトム１１０番連絡所も調べて載せているので見てほしい。

別紙 1

- 青少年センターから、アトム 110 番連絡所について説明があった。現在は 1950 件ほどお願いしているが、協力してもらえるところを探している。
- 良元コミュニティでは、令和元年ごろからアトム 110 番連絡所についての勉強会に取り組んでいる。これは継続して取り組んでいくこととしている。
- 学校にお願いだが、下校時の子どもの道のみちの歩き方や、正門を走って出てくる子がいるので、注意したり、門で声をかけるという取り組みをしてもらえたらと思う。
- 今日は、通学路の個所が分かってよかった。下校時間が分からなかったし、校区内の危ないところの情報を地域のものは聞くことがなかった。身近なところの校区の現状を知らなかったので、情報交換が必要と思った。
- 今までいろんな意見が出た。次のステップとして少人数で問題点や方向性をまとめていく作業が必要と思う。
- 通学路を通る場合や、通学路を外れたときの事故などの保障はあるという説明があった
- 通学路の荒地西山線のところと下道の交差するところは、横断歩道も信号もつかないとなっているが、通学路の変更の話が出ていて、地元は容認できない。信号機と横断歩道の設置について、学校としても地元と一緒に要望していくなど協力してほしい。
- 時間のかかる大きな問題や身近な問題も出たが、子どもたちの安全を守るため、ひいては地域を守るために取り組んでいきたい。